



▲ 広瀬教授 (右端)

「分析はたいへんだったが、冊子と

きつかけに専大生の結婚観を調べ、同世代との意識を比較しようというこ

とに」と話すのは姉の純子さん(平15文)も広瀬ゼミで学んだという高橋桃子さん(経済4)。

「結婚したいか、何歳でしたいか」「子どもは何人ほしいか」「専業主夫は男女ともや肯定的」といった特徴を持つているといふ結果を導きだした。テレビドラマを見て、「性同一性障害」に興味をもち、ゼミに入つたという工藤敏弘(平19経営)は、

「分析はたいへんだったが、冊子と

きつかけに専大生の結婚

観を調べ、同世代との意

識を比較しようといふこ

とに」と話すのは姉の純

子さん(平15文)も広瀬ゼミで学んだという高橋桃子さん(経済4)。

「結婚したいか、何歳でしたいか」「子どもは何人ほしいか」「専業主

夫について」といふ

のゼミで調べた「結婚観」についての報告書」を聞いた。

法学部教授とゼミ生に話をして、意見が分かれたのを

聞いていたとおりの結果が出

た。学部によつて結婚を

考える時期が違つるのは、

入学前から持つているキヤリアプランが違つからではないか。学年が上がるにつれて遅くなるのは現実が見えてくるからでないか、と考えられます」と分析。

全国版類似調査の「国立社会保障・人口問題研究所」の「第13回出生動向基本調査」などと比較しながら、専大生は「男女とも約半数が現在の交際相手との結婚を考えている」「結婚を希望するのは約8割、その8割が20代で希望」、「学部・学年間で結婚観に差」「シングルマザーも選択肢？」、「専業主夫は男女ともや肯定的」といった特徴を持つているといふ結果を導きだし

た。学部ではロックのサークルに入りエレキギターを」と専大に入学したが、スイング感覚で「結婚したいか」「子どもは何人ほしいか」「専業主夫は男女ともや肯定的」といった特徴を持つているといふ結果を導きだし

た。今年1月のMJAリサイタル=赤坂B flatで、春合宿は海外で1週間程度の「通称・サバイバル合宿」。今春はパリ島で行った。「航空チケットと宿泊先だけを決め、あとは個人の責任と研究テーマに沿つて行動します。時間厳守、公共交通機関のみ、危ないと思ったら動かない、というルールを徹底させています」と広瀬教授。

自分の感覚を信じて行動する中で、たくさん笑みがこぼれた。

本人は他意もなく何気なく言つた一言が、実は言われた人の心を傷つけていた。訴えるといふ行為には多少なりとも勇気を伴う行はるは多いです。ですから被害者は女性だ、と思い込んでいる人も多いです。訴えられた側(加害者)が、訴えられた側(加害者)の「そういうつもりで言ったのでは(やったのでは)ありませんでした」というものです。つまり知らないうちに加害者になつて誰かを傷つけたり悩ませたりしているのです。

旭経済学部教授も演奏力的に取り組む紺野さんは、常に「音の一つひとつに気持ちがこもり、自信を持つようになったのはトだ。複数のミュージシャンが登場、メンバーが演奏するセッションはディスカッショントです。緻密な会話をするには、経験や技術と共に人間力が必要。日々の音楽活動は言語道断でありますし、実際にはその逆もありますが、実際にはその逆もありますし、同性の場合もあります。大学には、多くの学生・職員・教員が集います。年齢・性別・価値観ばかりではなく、先輩・後輩・上司・部下、教授・講師、先生・生徒など力関係も様々です。もちろん、傷つけることを目的とした故意の嫌がらせは自制したいのです。互いに理解し尊重し合つて心地よいキャンパスライフを作りあげていきましょう。(岡田もえ子)

専大学生の「結婚観」を調査

春合宿は海外

で差が出ると仮説を立てていたとおりの結果が出た。学部によつて結婚を

夫について」といふ

のゼミで調べた「結婚観」についての報告書」を聞いた。

法学部教授とゼミ生に話をして、意見が分かれたのを

聞いていたとおりの結果が出

た。学部によつて結婚を

考える時期が違つるのは、

入学前から持つているキヤリアプランが違つからではないか。学年が上がるにつれて遅くなるのは現実が見えてくるからでないか、と考えられます」と分析。

全国版類似調査の「国立社会保障・人口問題研究所」の「第13回出生動向基本調査」などと比較しながら、専大生は「男女とも約半数が現在の交際相手との結婚を考えている」「結婚を希望するのは約8割、その8割が20代で希望」、「学部・学年間で結婚観に差」「シングルマザーも選択肢？」、「専業主夫は男女ともや肯定的」といった特徴を持つているといふ結果を導きだし

た。今年1月のMJAリサイタル=赤坂B flatで、春合宿は海外で1週間程度の「通称・サバイバル合宿」。今春はパリ島で行った。「航空チケットと宿泊先だけを決め、あとは個人の責任と研究テーマに沿つて行動します。時間厳守、公共交通機関のみ、危ないと思ったら動かない、というルールを徹底させています」と広瀬教授。

自分の感覚を信じて行動する中で、たくさん笑みがこぼれた。

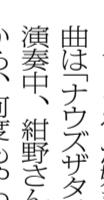
多忙な演奏活動の傍ら後輩の指導続ける

紺野智之さん

<平12経営>

セッションは

ディスカッション



曲は「ナウズザタイム」。

演奏中、紺野さんの表情

から、何度もやわらかな笑みがこぼれた。

今年1月のMJAリサイタル=赤坂B flatで、春合宿は海外で1週間程度の「通称・サバイバル合宿」。今春はパリ島で行った。「航空チケットと宿泊先だけを決め、あとは個人の責任と研究テーマに沿つて行動します。時間厳守、公共交通機関のみ、危ないと思ったら動かない、というルールを徹底させています」と広瀬教授。

自分の感覚を信じて行動する中で、たくさん笑みがこぼれた。

曲は「ナウズザタイム」。

演奏中、紺野さんの表情

から、何度もやわら